

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与えるとともに、3 Rをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。

本指導資料では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境について考えて、自分にできることをやってみよう。

みのまわりの木や草花



環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

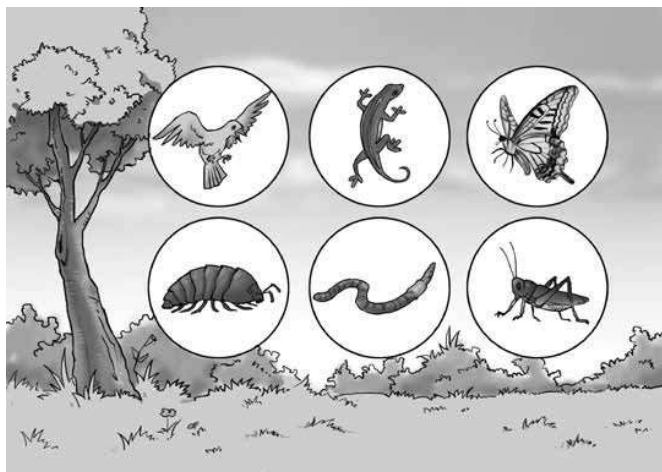
身の回りにある自然の大切さについて理解するとともに、身の回りにある自然を大切にするために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動内容(○主な活動)	教師の支援(◇留意点)	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、身の回りのどんどこに木や草花があるか話し合う。 ○掲示用教材②を見て、昔に比べて、身の回りの木や草花の数が、減ったことについて確認する。 自然の大切さについて話し合い、自分にできることを考えよう。 ○掲示用教材③を基に、身の回りの木や草花が増えるよさ等について、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。 ○掲示用教材④、⑤を参考に、身の回りにある自然を大切にするために、自分にできることについて考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇身の回りの、いろいろな場所に木や草花があることに気付かせる。 ◇身の回りの木や草花の数が減少することに伴って、生き物の数も減少していることを伝える。 ◇イラストを基に、身の回りの木や草花が増えたときの環境等の変化について考えさせるとともに、身の回りにある自然の大切さを理解させる。 ◇写真を参考に、東京都の自然を増やすための取組や豊かな自然について伝える。 ◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。 ◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	◆掲示用教材① ◆掲示用教材② ◆掲示用教材③ ◆ワークシート① ◆掲示用教材④、⑤ ◆ワークシート②

かんきょうもんだい かんが じぶん
環境問題について考えて、自分にできることをやってみよう。
みのまわりの木や草花

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前

1 き くさ ばな
木や草花がふえると、どうなるかな？



2 じぶん
自分にできることをやってみよう。

